

議事録

1. 日時

平成30年1月15日 18:30~20:30

2. 場所

(株)第一コンピュータリソース 8階 会議室2

3. 出席者（敬称略順不同）

近藤史人(座長) 川島由久 小倉友嗣 中村康司 鈴木聡(記)

4. 議題

- ① 平成30年度BA研究会活動方針の策定
- ② 開催日程案の検討

5. 議事

ここ数年、BA実務面での技術習得を中心に活動を行ってきたが、どうしても座長の近藤さんのノウハウを伝達する形となってしまう、近藤さんの負担が大きい、裏を返せば他の参加メンバーの主体感が希薄で、活発な発言が引き出せない、参加者が減ってゆくなど、一度立ち止まって見直す時期に来ているように思われる。ここで一旦原点に立ち返り、全員が参加を楽しめる、興味がわくようなテーマ設定をしてはどうかという話になった。

ということでホワイトボードを使用し、ブレインストーミングを実施。

例えば金融業会では仮想通貨やFinTechなどICTによる大きな変革が押し寄せていて、低金利政策と相まって基幹業務の収益が大幅に落ち込んでおり、大規模な統廃合や改革が始まろうとしている。その中でどうやって生き残るかというテーマについて扱えば、検討の中でFinTechや仮想通貨などの興味を引くトレンドワードについて掘り下げることができる。

エレベータ業界では2020年のオリンピック景気までは需要の拡大が見えているものの、その先の需要は確実に減ってゆくことが分かっている。その中で生き残ってゆくためにはイノベーションの実現が現実の課題だが、たとえばどうやってイノベータを育てるのかという現実的な悩みを扱っても盛り上がるのではないか。

ITにかんして、ウォーターフォールでは開発期間、規模が大きくなってゆくに連れ、マネジメント対象や期間が増加し、難易度が上がってゆく。顧客要件は顧客ですら把握できていないため、システム構築が進むに従い段階的詳細化によって物事がはっきりし、ベンダーと顧客の思いの乖離が明確になる。顧客は最初から思いは変わっていないため、仕様不良と言い、エンジニアは要件定義で承認を受けているため、仕様変更だと平行線になる。ではアジャイルが問題の解決策になるかといえば、そうとはならない。

昇降機業界の事例などは課題・問題提起から入るパターンとすれば、金融業会の事例、ウォーターフォールとアジャイルなどはソリューションから入るパターン。

ひとまず今回は発散だけで時間切れになったため、議事録とホワイトボードのコピーを元に各自次回までにどう収束するか、案を考えて持ち寄ることにした。

## 6. 開催日程案の検討

議題にはあがっていたが、活動方針策定で時間が終わってしまったため、前年に引き続き第3月曜日を開催日とする鈴木作成の日程案を議事録に添付し、意見を伺うことにする。

## 7. 次回予定

2月19日（第3月曜）18:30～20:30 第一コンピュータリソース 8階会議室2

議題：活動テーマ、活動形態の策定

## 8. その他

### ① 成果物

成果物は本議事録に別添するとともにFB上に上げてゆきます。

本会に参加できない方でもFB上に意見を上げていただけると、うれしいです。

よろしくお願いいたします。

—以上—